

とんがりやね

2018. 5. 1

第170号

<http://wataraseyogoen.jp/>

発行：社会福祉法人桐の実会 わたらせ養護園

〒376-0131 群馬県桐生市新里町奥沢 59-1 TEL 0277-74-0343 FAX 0277-74-0722



できごといろいろ

施設長 中島 恒夫

新緑が眩しくなり、色とりどりのつつじが咲き誇る季節になりました。いつも暮らしているところの素晴らしさ、ありがたさを感じなくなっているのでしょうか。それでも今年は、新緑が深くなるにつれ格別に風の匂いが気持ちよく感じます。

昨年は、玄関の軒にツバメが巣作りをしました。巣の形が出来上がってくると、次は中に入れる柔らかいものを集めては運び入れていましたが、スズメがその柔らかい羽などをくわえて持ち出してしまいました。ツバメは、横取りされても何度も繰り返していました。巣を狙うのは蛇だけではないのですね。結局、巣はそのまま使われることはありませんでした。今年も、また番いのツバメが古い巣の周りを何度も飛んで様子をうかがっています。さてさてどうなることやら楽しみです。

29年度もたくさんのお子どもたちを送り出すことができました。次の施設利用をする子、家庭復帰をして自宅から学校に通う子など、それぞれの道に進んで行きました。わたらせ養護園で学んだことが少しでも役に立つことを願って応援したいと思います。

昨年度は、ペアレント・トレーニングなどの支援プログラムを取り入れ、発達障害児への支援を行いました。また、親が子どもにどう向き合うかを園内の実践を通して、子どもを叱るのではなく、どう褒めるのかを学んでもらう機会としました。

今年度は、職員の資質向上の取組として、「知的障害施設の危険予知訓練テキスト」を毎月会議にて学習し、福祉職員としての危険を予知する能力を高め、事故防止につなげたいと思います。職員一同、子どもたちにとって安心した良い年にしたいと思います。

職員研修会

4月1日、平成30年度の職員研修が行われました。
今年度は保育士3名と調理補助1名が新たに加わり、計30名で新年度を迎えることができました。



新人職員挨拶

4月から保育士としてお世話になっております、須崎と申します。子ども達と共に学び合える様な援助や療育を目指していきたく思います。また、子どもや保護者に寄り添い、様々な方向から予想することのできる保育士になりたいと考えています。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

保育士 須崎 裕紀子

今年度からお世話になります石原です。毎日、子ども達の笑顔にパワーをもらっています。そんな子ども達に負けないように元気よく明るい笑顔で頑張っていきたいと思っております。分からないことが多く、色々ご迷惑をおかけすると思っておりますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

保育士 石原 千裕

4月から保育士として働かせていただいております、篠塚です。子ども達と共に笑ったり、考えたりしながら頑張っていきたいと思っております。まだまだ未熟なところが沢山あり、ご迷惑をおかけすると思うのですが、子ども達が日々を笑って過ごせるよう努力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

保育士 篠塚 直哉

H30年度園内研修

危険予知訓練(KYT)について

今年度、一年間をかけて職員全体で危険予知訓練(以下KYTと略す)について学んでいきます。KYTとは業務の中で、危険予知能力を高めようとする取り組みです。目の前にある危険にいち早く気づければ事故防止になり、再発防止にもつながります。具体的には、「KYTかんたんマニュアル」に掲載されている20枚のイラストを見ながら危険だと感じる場面をあげ、それについて再発防止を考えていきます。この時に大切なのは想像力をフルに働かせ、できるだけ多くの危険に気づくことです。この研修を通して自分たちの危険予知能力をどこまで高めることができるか今から楽しみです。

副施設長 太田

退任職員挨拶

約4年間、勤めさせていただきました。

子どもたち、職員、保護者の方々と触れ合い、関わることができ沢山のことを学びました。新たなスタートを迎えますが、わたらせ養護園で学んだことを活かして、今後も頑張りたいと思っております。

約4年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

保育士 佐藤 志寿華
(H26.6~H30.3)

わたらせ養護園で保育士として約3年間お世話になりました。長いようであっという間だったように感じます。思い出すのは楽しかったことばかりです。子ども達と笑い合ったこの時間は、忘れることの出来ない大切な思い出です。わたらせ養護園での思い出を胸に1日1日を楽しく笑顔で過ごしていけたらと思っております。本当にありがとうございました。

保育士 園田 朱花(旧姓:宮田)
(H27.4~H30.3)

〈退職・採用者紹介〉

定年退職

調理員 小島 文江(H30.3.31)

採用

調理補助 大塚 久江(H30.4.1)

しゃぼん玉ふわり

「新年度」

保育士 渡邊 彩

新年度を迎え、子ども達は1つ学年が上がります。今年度は、中学部に進級した児童がたくさんおり、新しい制服を身にまとい、ピシッとした姿がとても印象的でした。

子ども達の会話の中では、新しい担当や部屋割りが発表になる頃「新しい担当は誰なのかな〜」「〇〇さんが担当がいいな!」といった園での新しい生活を気にしている子や、新学期が始まると「担任の先生は〇〇先生だよ」「〇〇くんと同じクラスだよ〜」といった学校での出来事を嬉しそうに話してくれる子など様々でした。春休み期間や新学期が始まった頃、子ども達はドキドキ・ワクワクで落ち着かない様子も見られましたが、生活していくうちに段々と慣れ、今では落ち着いて過ごすことができている。日々生活していく中で、今まで出来なかった事が出来るようになった子、職員の名前を覚え「〇〇さ〜ん」と笑顔で駆け寄ってくる子など、様々な場面で子ども達の成長を感じる事が出来ます。これからも子ども達の成長を身近に感じながら日々支援し、一緒に自分も成長していきたいと思えます。



児童作品

春 休 み の 様 子



春休みは天候にも恵まれ、様々な場所へ、ドライブや外出に出かけることができ、子ども達も楽しく充実した春休みを過ごすことができました。大胡グリーンフラワー牧場への外出で風車の前で記念にパシャリ!



満開の桜の木の下で両手を大きく広げ、素敵な写真が撮れました。

第32回 あすなろ祭

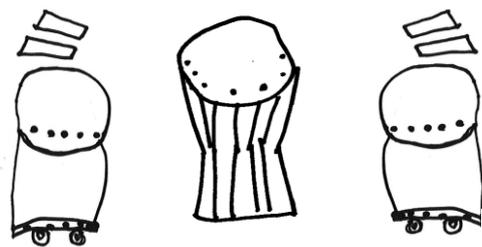
～ステージ部門 優秀賞～



平成30年2月17日、昌賢学園まえばしホールにて第32回あすなろ祭が行われました。展示部門では粘土や折り紙を使った作品計4点を出展し、ステージ部門では太鼓グループによる和太鼓演奏で「わたらせ太鼓」「からっ風」の二曲を披露しました。この日のために「もっと声をだそう!」「足は開いて!」等、たくさん練習をしてきました。練習を重ねていくうちに自信がついて上達していく子ども達。いつもと違うホールでの演奏で、子ども達も職員も緊張感溢れる中、練習以上に堂々と迫力ある演奏をすることができました。そして、優秀賞を頂くことができました。



閉会式の様子



児童作品



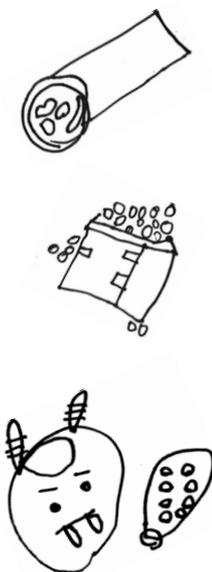
幼児部による作品『僕たちの世界』



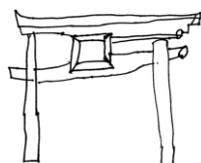
演奏後の記念撮影

初午

2月3日、幼児部のみなでお稲荷様へお参りをしてきました。子どもたちの代表として行ったこともあってか、幼児さんはとても張り切っていました。きつねさんが大好きな油揚げはもちろん、お豆腐、イワシ、お米、お酒をお供えて頭をペコリ。お参りのあとは子どもたち全員で初午についてのクイズをして、楽しくお勉強しました。



児童作品



節分

児童作品

2月9日、わたらせ養護園で毎年恒例の豆まきを行いました。大きな大きな赤鬼の顔に向かって「おにはーそと！ふくはーうち！」と元気な声で豆を投げていました。おやつには大善寺さんから頂いたお菓子を食べて大満足。夕食にも豆ご飯が出て、「投げたお豆が入ってるのかな？」「今日は豆がいっぱいだね！」と、とても嬉しそうなお子どもたちでした。

ひなまつり

3月2日、おあつまりで紙芝居を読み、子どもたち全員で「たのしいひなまつり」を歌って、ひなまつりのお祝いしました。おやつでは、ひしもちの形をしたゼリーを食べて、子どもたちはニコニコ。

主役の女の子たちは、おやつのおあとにおひなさまと写真を撮りました。とびきりの笑顔で素敵な写真になりました。



児童作品

3月9日 卒業式

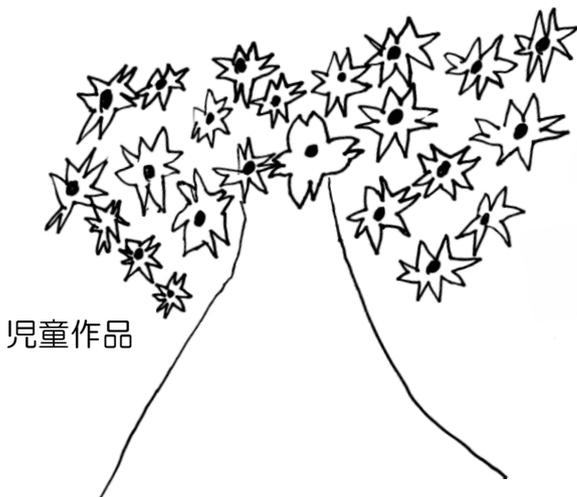
3月16日 幼児部修了式



小学部7名、中学部5名が卒業証書を受け取りました。在校生から『贈る言葉』をもらい、春から新しいスタートを切ります。

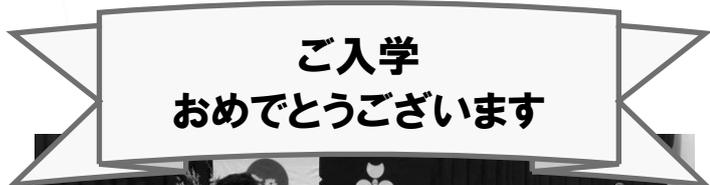


29年度は1人の児童が幼児部を修了しました。少し緊張した様子で修了証書を受け取り「一年生になったら」をみんなで歌いました。



児童作品

4月9日 入学式



小学部へ1名が新一年生に、中学部へ7名が新中学生になりました。堂々と新入生の挨拶をし、立派な姿を見せてくれました。これからの成長が一段と楽しみになった入学式となりました。新中学生の制服姿もよく似合っています。

1月

- 9 桐生市地域自立支援協議会定例会(太田)
- 12 桐生市地域自立支援協議会子ども部会(太田)
- 15 社会福祉法人監事等研修会(太田・久保田)
- 24 事務部会(久保田・山岸・中島)
- 26 保健部会(牛丸・宮川)

2月

- 6 桐生市地域自立支援協議会定例会(太田)
- 8 年金委員・健康保険委員合同研修会桐生地区
(久保田)
- 8 関東地区福祉型障害児入所施設連絡会(太田)
- 22 児童生活部会(中島・新井)
- 22 育英短期大学就職・実習等懇談会(太田)
- 26 群馬フェリーチェ学園
モンテッソーリ教育について情報交換(太田)
- 27 サービス管理責任者等連絡会(太田)

3月

- 6 桐生市地域自立支援協議会定例会(太田)
- 9 事務部会(久保田・松尾・太田)
- 12 サービス(児童発達)管理責任者部会(新井)
- 15 社会福祉法人の地域公益活動推進セミナー
(太田)

4月

- 12 給食部会(瀬谷)
- 18 初任者研修会(須・石原・篠塚)
- 25 関東地区種別会議(中島)
- 27 施設長会議(中島)
- 27 施設長部会(中島)

ボランティア

個人

絵本読み聞かせ

齊藤知子さん (2/25・3/25・4/29)

保育

高瀬勇斗さん (2/27・2/28)

須崎裕紀子さん (2/17・3/6)

石原千裕さん (2/17・3/10)

篠塚直哉さん (2/17・3/13)

団体

縫製

ハの会さん (2/27・3/27・4/24)

〈実習〉

新規採用職員実習

須崎裕紀子 (3/13~3/25)

石原千裕 (3/19~3/27)

篠塚直哉 (3/19~3/27)



フィットネスクラブ・カーブスさんより
沢山の食品や飲み物、お菓子などいただきました。子ども達も頂いたお菓子を食べ、
とても喜んでいきます。
毎年、沢山のご寄贈有難うございます。



「夢を抱く事の素晴らしさを子ども達に知
ってほしい」との思いで集まった4人の女性
ボーカリスト「DREAMVOICES」さんより、
チャリティーライブの収益からご寄付をいた
だきました。有難うございます。

わたりせ養護園後援会だより

平成29年度も皆様よりあたたかいご支援をいただき、わたりせ養護園に大きな援助をすることができましたこと、心より感謝申し上げます。

昨年度の会員状況を報告します。継続会員の方191名、新会員の方2名、復活会員の方27名、増額会員の方12名でした。ありがとうございました。わたりせ養護園では30年度事業として、本館の屋根、児童の居室、食堂の窓等の改修工事を計画しています。本年度も引き続き皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

また、皆様から届く振替用紙の通信欄のお便りに職員一同励まされ楽しみにしております。本年度も皆様の情報交換の場として、又皆様の日常の様子などお便りお待ちしております。

今後ともよろしくお便り申し上げます。 後援会事務局

後援会の加入は年間を通じて受け付けています。
事務局迄ご連絡下さい。

会費・特別会費1年1口 10,000円 (できましたら2口以上お願いいたします)
個人会費1年1口 1,000円
事務局 〒376-0131 桐生市新里町奥沢59-1 わたりせ養護園内
わたりせ養護園後援会
TEL 0277-74-0343

ありがとうございます

(平成30年1月1日~4月30日現在)

ご寄付(敬称略、順不同)

岸泰宏(東京都) 岸厚次(千葉県) 松崎靖(みどり市)
寺田道子、大善寺、DREAMVOICES、吉田美恵子(桐生市)

ご寄贈(敬称略、順不同)

阿部昌子、松井初音(東京都) カーブス(前橋市)
株式会社原田ガトーフェスタハラダ(高崎市)
大和南(伊勢崎市) 大善寺、諏訪歯科医院
寺田道子、鴨田正男(桐生市)

ご寄贈に関してお問い合わせを頂くことがあります。バスタオルやティッシュ、洗剤といった消耗品のご寄贈は大変有り難いです。衣類に関しては、十分足りています。こども達は、それぞれの好みにあったものを自分で選んでいます。申し訳ありませんが中古品の衣類を使用する事が殆どなく、お受けしない方向で考えております。ご協力をお願いいたします。御厚意に心より感謝申し上げます。

〈編集後記〉

だんだんと気候も暖かくなり過ごしやすい時期になりました。桜も散り園庭の木々も青々とし緑に囲まれ始めています。子ども達も体調を崩すことなく、毎日元気いっぱい過ごしています。職員も子ども達のパワーに負けないよう、頑張って支援して行けたらと思います。

